



平成 24 年 12 月 6 日

各 位

会社名 古河電気工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 柴田 光義
(コード番号 5801 東証・大証第一部)
問合せ先 経営企画室 I R・広報ユニット長
鈴木 治
(TEL : 03-3286-3050)

会社分割（簡易吸収分割）による、連結子会社（古河電工パワーシステムズ株式会社） への事業の承継に関するお知らせ

当社は、平成 24 年 12 月 6 日開催の当社取締役会において、平成 25 年 4 月 1 日を効力発生日として、当社のエネルギー事業部門におけるエフコ製品部および電材部を当社 100%出資の子会社である「古河電工パワーシステムズ株式会社」（以下、FEPS 社）に承継させる会社分割を行うこと（以下、本分割）につき、下記のとおり決定いたしましたので、お知らせします。

尚、本分割は、当社 100%出資の子会社との手続きであるため、開示事項・内容を一部省略しています。

記

1. 会社分割の目的

電力事業をとりまく環境は、国内市場は、スマートグリッドに代表される送配電網の高度化や太陽光や風力に代表される自然エネルギー関連、蓄電池などの電力エネルギーの貯蔵システムなどの技術開発が進み、これらに関連した市場の成長が想定されます。また海外でも、経済成長の著しい中国やアジア諸国、ブラジル、ロシアなどを中心に、電力インフラ構築の需要増加が見込まれます。

これら環境の変化に対し製造・開発投資の効率化および顧客の多様化、高度化するニーズに迅速に対応すべく、当社グループの電力部品分野でそれぞれ確固たる技術力を保有する旭電機株式会社、株式会社井上製作所、古河パワーコンポーネンツ株式会社の 3 社は平成 24 年 10 月 1 日に合併（合併後の社名は「古河電工パワーシステムズ株式会社」）し、また、当社の電力部品事業についても同社へ事業譲渡しました。

加えて、平成 25 年 4 月には、当社のエネルギー事業部門における電線・ケーブルの端末、接続処理用の電気絶縁材を取り扱う「エフコ製品部」事業、およびビルや工場施設に大電流を供給するシステムであるバスダクトを取り扱う「電材部」事業を、本分割により FEPS 社へ承継させ、電力機材事業の更なる拡大をはかり、多様化する顧客のニーズに最適なソリューションを提供してまいります。

2. 会社分割の要旨

(1) 会社分割の日程

取締役会決議日	平成 24 年 12 月 6 日
分割契約締結日	平成 24 年 12 月 6 日
効力発生日	平成 25 年 4 月 1 日（予定）

(注) 本件は、会社法第 784 条第 3 項の規定により、会社法第 783 条第 1 項に定める株主総会の承認を得ないで分割（簡易分割）を行うものです。

- (2) 会社分割の方式
当社を分割会社とし、当社 100%出資のグループ会社である FEPS 社を承継会社とする吸収分割です。
- (3) 会社分割に係る割当ての内容
FEPS 社は、本件分割に際して普通株式 1 株を発行し、そのすべてを当社に対して割当て交付します。
- (4) 会社分割に伴う新株予約権および新株予約権付社債に関する取り扱い
該当事項はありません。
- (5) 会社分割により増減する資本金
本件分割による当社の資本金の増減はありません。
- (6) 承継会社が承継する権利義務
- ① 承継する資産および負債
FEPS 社は効力発生日における当社のエフコ製品部および電材部に関する資産、負債、およびこれらに付随する権利義務を承継します。(但し分割契約書に承継しないと定めたものは除きます。)
尚、債務の承継については、重畳的債務引受けの方法によるものとします。
- ② 雇用契約
当社から FEPS 社に承継するエフコ製品部および電材部に関する事業に主として従事する従業員との間で締結した雇用契約は、FEPS 社に承継されないものとします。
- (7) 効力発生日以降における債務履行の見込み
本件分割において、FEPS 社が負担すべき債務については、履行の見込みに問題ないと判断しております。

3. 会社分割の当事会社の概要

	分割会社 (平成 24 年 3 月 31 日現在)	承継会社 (平成 24 年 10 月 1 日現在)
(1)商号	古河電気工業株式会社	古河電工パワーシステムズ株式会社 (※)
(2)事業内容	ケーブル、通信機器、伸銅品等の製造販売	送変電機材、架空配電・地中配電機材、鉄道用等高機能品、計測機器、溶接機器用機材、電力工事用工具類の設計・製造・販売
(3)設立年月日	明治 29 年 6 月 25 日	昭和 23 年 7 月 1 日
(4)本社所在地	東京都千代田区丸の内 二丁目 2 番 3 号	神奈川県横浜市青葉区あざみ野 南二丁目 11 番 16 号
(5)代表者	代表取締役社長 柴田光義	代表取締役社長 奥野道雄 (※)
(6)資本金	69,395 百万円	300 百万円
(7)発行済株式総数	706,669,179 株	600,003 株
(8)純資産	197,569 百万円 (連結)	旭電機(株) 8,702 百万円 (株)井上製作所 771 百万円 古河パワーコンポ-ネツツ(株) 3,240 百万円 (※平成 24 年 3 月 31 現在)

(9)総資産	790,114 百万円 (連結)	旭電機(株) 10,287 百万円 井上製作所(株) 4,455 百万円 古河パワーコンポネツツ(株) 3,657 百万円 (※平成 24 年 3 月 31 現在)
(10)決算期	3 月 31 日	3 月 31 日
(11)従業員	4,192 人	約 600 人
(12)主要取引先	NTT 各社 JR 各社 電力各社 自動車メーカ各社 電機メーカ各社	電力各社 電力機材販売各社 古河電気工業(株) 電機メーカ各社
(13)大株主および持株比率	日本マスタートラスト信託銀行(株) (信託口) 3.87% 日本トラスティ・サービス信託銀行(株) (信託口) 3.84% 日本トラスティ・サービス信託銀行(株) (信託口 9) 3.43% 日本トラスティ・サービス信託銀行(株) (信託口 4) 3.41% みずほ信託銀行(株) 退職給付信託 みずほ銀行口 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行(株) 3.24% 朝日生命保険(相) 2.27%	古河電気工業(株) 100%

※承継会社である古河電工パワーシステムズ株式会社（旧商号：旭電機株式会社）は、平成 24 年 10 月 1 日を効力発生日として同社 100%出資子会社である株式会社井上製作所および古河パワーコンポネツツ株式会社を合併し、同日付で商号および代表者を変更しております。

4. 分割会社の最近の 3 決算期間の業績

決算期	分割会社 (連結)		
	平成 22 年 3 月期	平成 23 年 3 月期	平成 24 年 3 月期
売上高 (百万円)	809,693	925,754	918,808
営業利益 (百万円)	20,321	35,144	15,942
経常利益 (百万円)	19,347	31,422	12,872
当期純利益 (百万円)	9,704	12,213	△11,123
1 株当たり当期純利益 (円)	13.80	17.30	△15.75
1 株当たり配当金 (円)	5.00	5.50	2.50
1 株当たり純資産 (円)	231.39	235.05	204.93

5. 分割する事業部門の内容

(1) エフコ製品部、電材部の事業の内容

当社のエフコ製品部は、電線・ケーブルの端末、接続処理用の電気絶縁材の製造・販売を行っております。また、電材部は、ビルや工場施設に大電流を供給するシステムであるバスダクトの製造・販売を行っております。

(2) 分割会社のエフコ製品部、電材部の平成 24 年 3 月期における経営成績

	分割する事業部門の 実績(a)	平成 24 年 3 月期 当社実績 (連結) (b)	比率(a/b)
売上高	2,432 百万円	918,808 百万円	0.26%

(3) 承継させる資産、負債の項目および金額 (平成 24 年 3 月 31 日現在)

資 産		負 債	
項目	帳簿価格	項目	帳簿価格
流動資産	262 百万円	流動負債	1 百万円
固定資産	387 百万円	固定負債	1 百万円
合計	649 百万円	合計	2 百万円

6. 分割後の当社の状況

本分割により上記 2. に記載の権利義務が FEPS 社に承継されることを除き、分割後の当社の商号、事業内容、本店所在地、代表者、資本金および決算期については、変更はありません。

7. 分割後の業績見通し

本件分割の承継会社である FEPS 社は、当社の完全子会社であるため、連結業績に与える影響はありません。また、単独業績に与える影響は軽微となる見込みです。

以 上